

市報 **ちがが** **特別版**

平成20年11月10日発行 発行所 秩父市役所 電話 0494-22-2211(代表) 〒368-8686 埼玉県秩父市熊木町 8 番15号



冬の空気を熱く彩る、笠鉾、屋台、そして人々の躍動。いにしへの伝説が現代によみがえる。

**挑戦！「秩父夜祭」を**  
**世界無形文化遺産登録へ**

秩父市は、国指定の重要無形民俗文化財である秩父夜祭（登録名「秩父祭の屋台行事と神楽」）を、ユネスコの世界無形文化遺産へ登録することにチャレンジします。

フランスのパリに本部を置くユネスコ（国際連合教育科学文化機関）では、世界遺産の保護や普及広報活動を推進しています。この活動に基づき、世界遺産（有形不動産）とは別に、無形の文化を人類共通の遺産とするため、2006年（平成18年）に「無形文化遺産の保護に関する条約（無形遺産条約）」が発効され、今後この条約による無形文化遺産の登録が行われる予定です。

日本では、条約発効後の最初の提案をするため、文化庁が文化審議会文化財分科会の特別委員会にて調査審議を行って、日本の代表候補を選定する方針を今年7月に決定しました。

この方針によれば、「重要無形文化財」、「重要無形民俗文化財」および「選定保存技術」のそれぞれの区分より、指定時期や地域パランス等を考慮して、順次候補を提案することです。

そこで、来年提案される候補に秩父夜祭の屋台行事と神楽が選定されるよう、今年の祭りで提出資料である映像の記録等を行い、秩父市として積極的に文化庁に働きかけることとしました。

いよいよ12月が近づいてきました。秩父夜祭を支えている人たちの心意気と、後世へ伝統文化を継承するという強い決意を世界に向

**栗原市長のメッセージ**

人が交流する観光産業は、人口減少が進む地域を活気づかせる切り札としますますます重要になっています。政府においては「観光立国」というスローガンの下で本年10月1日に観光庁をスタートさせ、外国からの観光客を2020年までに2千万人まで増やす計画を立てています。

当市としても、東京から近距離にあるという恵まれた立地や自然環境、歴史が育んできた観光資源を最大限に生かして、外国人観光客の誘客を積極的に促進していきたいと思っております。

そのためにも、秩父夜祭がユネスコの世界無形文化遺産に登録されることを目指し、私たちが誇る伝統文化を世界に向かってアピールしていきたいと考えています。市民の皆さんのご支援をいただき、世界の秩父夜祭になるようさらに盛り上げていきましょう。



**国指定重要無形民俗文化財 「秩父祭の屋台行事と神楽」とは**

笠鉾・屋台の曳(ひ)き廻しのための屋台ばやしや屋台上での歌舞伎、曳き踊りなどが、国の重要無形民俗文化財として指定されています。

また、これらの屋台行事とともに、祭礼当日の朝から公開される神楽(かくら)も指定されています。

図文化財保護課 ☎22-2481

けて発信するため、関係者と市民が一体となって機運を盛り上げ、秩父夜祭がユネスコの世界無形文化遺産に登録されるよう応援をお願いします。

